

## 【別表】いじめの未然防止、早期発見、早期対応等に関する取組

江戸川区立小岩第四中学校

### I 学校全体としての取組

		生徒に直接かかわる取組内容	家庭での取組内容(例)	
いじめの未然防止		<ul style="list-style-type: none"> <li>○個々の価値観等の理解(道徳・特別活動・総合)</li> <li>○道徳教育の充実(人権教育、情報モラル)</li> <li>○正しい判断力の育成(道徳・特別活動・総合)</li> <li>○奉仕的体験活動への積極的取組</li> <li>○親和的な学級づくりのための調査(QU:5月)</li> <li>○生徒会の「いじめ撲滅宣言」等による主体的な取組への積極的支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○携帯電話、インターネット、ゲーム等の約束づくり</li> <li>○生活の様々な機会を通し、善悪の判断を育成</li> <li>○地域での様々な体験への参加</li> </ul>	
いじめの早期発見		<ul style="list-style-type: none"> <li>○集団への適応が苦手な生徒への支援</li> <li>○個別面談や児童対象のアンケートによる情報収集(ふれあい月間:6月・10月・2月)</li> <li>○文房具等の持ち物にいたずらや紛失があった際の即時対応と原因追究</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日常的、積極的な子どもとの会話</li> <li>○服装の汚れや乱れ、ケガのチェック</li> <li>○子どもの持ち物や金銭の紛失又は増加への気付きと原因の追究</li> </ul>	
いじめの早期対応	暴力を伴ういじめ	いじめを受けた側	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本人や周囲からの聞き取りによる、身体的・精神的な被害の的確な把握、迅速な初期対応</li> <li>○休み時間や登下校時の教師による見回りなど被害が継続しない体制づくり</li> <li>○いじめの原因や背景の調査による根本的解決</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもを守る強い姿勢を見せることと、子どもの話をよく聞くことによる事実や心情的把握</li> <li>○問題解決に向けた学校の方針への理解と協力</li> </ul>
		いじめを行った側	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事実を確認し、「いじめは絶対に許さない」という毅然とした態度でいじめを阻止</li> <li>○いじめの原因や背景の調査による根本的解決</li> <li>○スクールカウンセラー、関係機関(警察、児童相談所等)との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめを受けた生徒を守ることを最優先とすることへの理解</li> <li>○事実の冷静な確認と子どもの言い分を聞くこと</li> <li>○子どもの過ちをただす、親としての毅然とした態度</li> <li>○被害生徒・保護者への適切な対応(謝罪等)</li> </ul>
	暴力を伴わないいじめ	いじめを受けた側	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本人や周囲からの聞き取りによる、精神的な被害の的確な把握、迅速な初期対応</li> <li>○休み時間や登下校時にも教師による見回りを行うなど被害が継続しない体制づくり</li> <li>○いじめの原因や背景の調査による根本的解決</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもを守る強い姿勢を見せることと、子どもの話をよく聞くことによる事実や心情的把握</li> <li>○問題解決に向けた学校の方針への理解と協力</li> </ul>
		いじめを行った側	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事実を確認し、「いじめは絶対に許さない」という毅然とした態度でいじめを阻止</li> <li>○いじめの原因や背景の調査による根本的解決</li> <li>○関係機関(教育相談、カウンセラー等)との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめを受けた生徒を守ることを最優先にすることへの理解</li> <li>○事実の冷静な確認と子どもの言い分を聞くこと</li> <li>○子どもの過ちをただす、親としての毅然とした態度</li> <li>○被害生徒・保護者への適切な対応(謝罪等)</li> </ul>
	行為のわかりにくいいじめ	いじめを受けた側	<ul style="list-style-type: none"> <li>○苦しい気持ちへの共感と、「いじめから全力で守る」ことの約束</li> <li>○本人や周囲からの聞き取りによる、つらさの的確な把握、迅速な初期対応</li> <li>○いじめの原因や背景の調査による根本的解決</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもを守る強い姿勢を見せることと、子どもの話をよく聞くことでの事実や心情的把握</li> <li>○問題解決へに向けた学校の方針への理解と協力</li> </ul>
		いじめを行った側	<ul style="list-style-type: none"> <li>○事実を確認し、「いじめは絶対に許さない」という毅然とした態度でいじめを阻止</li> <li>○いじめの原因や背景の調査による根本的解決</li> <li>○関係機関(カウンセラー等)との連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめを受けた生徒を守ることを最優先にすることへの理解</li> <li>○事実の冷静な確認と子どもの言い分を聞くこと</li> </ul>
	周囲の生徒(傍観者)		<ul style="list-style-type: none"> <li>○傍観することがいじめに加担することと同じであること、いじめを受けた生徒の心情的理解</li> <li>○言いなりにならず、自分の意思で行動することの大切さの指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○いじめに気付いた場合、傍観者とならず学校や保護者に通告できるように指導</li> <li>○どんな場合でもいじめる側や傍観者にならない強い意志を育成</li> </ul>

### II 家庭や地域との連携

各家庭(PTA)での取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもに関心を持ち、寂しさやストレスに気付くことのできるような教育講演会等の実施</li> <li>○子どものがんばりをしっかり認めて褒めること、「ならぬことはならぬ」とはっきりとしかることの実践</li> <li>○父親の子育てへの積極的参加</li> </ul>
地域での取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもたちへの積極的なあいさつと声かけの依頼</li> <li>○公園等でいじめを疑われる行為を受けている子どもへの積極的な声かけと学校(保護者)への連絡</li> </ul>